

ネイティブストレプトコッカス・ニューモニエ $\beta(1-4)$ -ガラクトシダーゼ

Cat. No. NATE-0974

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素はオリゴ糖および糖タンパク質から非還元末端の $\beta(1-4)$ -結合ガラクトースを放出します。この特異性は酵素濃度が $< 100\text{mU/ml}$ のときのみ明らかです。より高い濃度では、 $\beta(1-3)$ -結合ガラクトースの加水分解が発生します。

用途 その高い選択性により、この酵素は非還元末端の $\beta(1-4)$ -結合ガラクトース残基の同定に非常に有用な試薬です。そのため、この酵素は、より広い特異性を持つ牛糞丸 β -ガラクトシダーゼやジャックビーン β -ガラクトシダーゼと組み合わせて、詳細な構造解析に広く使用されています。

別名 β -ガラクトシダーゼ; ベータガル; β -ガル; ラクターゼ; β -ラクタシダーゼ; マキシラク; ハイドロラク; β -D-ラクタシダーゼ; ラクトザイム; トリラクターゼ; β -D-ガラクトアナナーゼ; オリザチム; スミクラット; β -D-ガラクトシド ガラクトヒドロラーゼ

製品情報

由来 肺炎球菌

形態 20 mM トリス-HCl, 25 mM NaCl (pH 7.5)

分子量 220-247 kD

最適pH 6

緩衝液 5倍濃縮バッファーで、希釈すると50 mMのリン酸ナトリウムpH 6.0になります。

単位定義 1単位は、pH 6.0および37°Cで1 μ moleのoNP- β -D-galactopyranosideを1分間に加水分解するのに必要な酵素の量として定義されます。